滑 中 広 総 第 5 号
令和 8 年 11 月 24 日

総務大臣　藤井　比早之　殿

滑川中新川地区広域情報事務組合
管理者　水野　達夫

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．事業概要

(1) 工事完了日　　：令和４年３月 16 日

(2) サービス開始日：令和４年３月 19 日

２．目標達成状況（累計）

指　標	目標 （目標年度）	（実績値/目標値）				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
Wi-Fi 設置済 加入者数	7,500 世帯 （令和７年度）	2,606 /2,500	4,392 /3,900	5,403 /5,800	6,238 /7,500	【参考】 6,464 /7,500 (9 月末時点)

（参考）

提供可能回線数	利用回線数				
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
29,858回線	2,606	4,392	5,403	6,238	6,464 (9月末時点)

３．中間評価を踏まえて実施した取組

中間評価当時は料金改定の影響を考慮して営業活動を縮小していた時期があり、現在は縮小方針ではないものの、一度縮小したものを戻すのに苦慮しており、またお客様の訪問営業に対する警戒心の高まりで営業効率が落ちている現状があり、営業活動には今後ますます工夫が必要だと考えている。

以下の施策は引き続き取り組んでいる。

・ 相談窓口を滑川市・立山町・上市町に各１か所ずつ運用し、加入・利用促進を図った。
・ D-ONU は Wi-Fi ルータ内蔵モデルを標準機とし、Wi-Fi 環境未整備加入者をゼロにするべく普及促進を図った。
・ 手厚く訪問営業を行うことにより顔が見えて安心いただける営業活動を行い普及促進に努めた。

４．評価

【Wi-Fi 設置済加入者数について】

HFC から FTTH への移行と新規加入獲得にて目標数の達成を目指しているが、特に FTTH への移行は想定を下回る状況が続いており、目標数へ届かない現状となっている。HFC の利用者数が減ったために混雑が緩和され、快適に利用いただけることにより移行にメリットを感じにくくなっている面があると思われ、営業手法に工夫が必要と感じている。加えて新規獲得も一時期営業活動を縮小した影響から脱することができず、人員の確保や営業手法等課題が多いと認識している。

今後の取組みとしては、地区ごとに期限を切って FTTH への移行を促す等 HFC サービス終了に向けた取り組みを行うとともに、新たな新規獲得営業を検討しており、新規加入獲得数の増加もあわせて設置数増加に取り組む。

【利用回線数について】

提供可能回線数(29,858 回線)に対する利用回線数（Wi-Fi 設置済加入者数：6,464、非設置加入者数は 0（FTTH では全世帯 Wi-Fi 設置））の割合は 21.65%である。営業努力により上昇が続いているが、ほぼ全てのエリアで他社の回線が利用できるため、選ばれる魅力的なサービス提供に努めて利用回線数の更なる増加に繋げていく。